

復元竪穴住居の屋根を葺き替えました（令和5年度）

紀伊風土記の丘資料館の南側に建っている復元竪穴住居^{ふくげんたてあなじゅうきょ}は、平成8年（1996年）10月に、開館25周年を記念して、和歌山市鳴神^{なるかみ おとら}の音浦遺跡で見つかった古墳時代中期（5世紀）の住居跡を元に建設されました。以来、体験学習の場として、多くの来館者の方に親しまれてきましたが、長い間に風雨にさらされ、屋根の茅^{かや}が痛んできたため、令和6年1月から3月にかけて茅葺き屋根の葺き替え工事を実施しました。

紀伊風土記の丘にお越しいただいたら、ぜひ、新しくなった竪穴住居をご覧ください。

【葺き替え作業の様子】

1 工事する前



雨風にさらされ、やせてしまった茅屋根

2 工事の途中



茅葺きを解体している



隅から新しい茅を葺き始める



平葺きの作業



煙出し部分の噴き上げ



軒先をきれいに仕上げる



だんだん出来上がってきた



かっこいい棟飾り



茅をハサミで刈り込んできれいに
する

3 完成



茅がきれいに整って美しい



新築みたいにきれいになりました